

教科	科目	時間数	
基礎	学科	機械工学概論	10
		NC加工概論	20
		生産工学概論	10
		材料力学	16
		製図	40
		機械工作法	40
		測定法	10
		安全衛生	20
		計	166
	実技	製図基本実習	60
		安全衛生作業法	20
		計	80
		基礎合計	246
	専攻	学科	機械加工法
計			32
実技		測定実習	60
		NC加工実習	150
		機械工作実習	432
		切削加工及び研削加工実習	392
		機械保全実習	30
		CAD実習	130
		計	1,194
	専攻合計	1,226	
その他	学科	社会	20
		体育	8
		計	28
	その他合計	28	
	学科合計時間	226	
	実技合計時間	1,274	
	総合計時間	1,500	

教科名	区分	実施時期	時間数
機械工学概論	基礎学科	入校後 1～4か月	10
<b>《ねらい・到達目標》</b> 機械の各要素を学び、機械機構と運動についての知識を習得する。			
<b>《概要》</b> ねじ等の締結部品、軸、軸受け、歯車の機械要素等について学ぶ。			
授業内容			
1 機械要素 2 機構と運動 3 歯車機構			
教科書・参考書	機械・仕上の総合研究（上）（技術評論社）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
NC加工概論	基礎学科	入校後 1～7か月	20
<b>《 ねらい・到達目標 》</b> 数値制御工作機械の構造と仕組みを学び、NC言語を理解してプログラミングができる知識を習得する。			
<b>《 概要 》</b> NC工作機械の概要、数値制御言語、NCプログラミングについて学ぶ。			
<b>授 業 内 容</b>			
1 NC工作機械の概要 2 NCプログラミング			
<b>教科書・参考書</b>	NC工作機械（雇用問題研究会）		
<b>使用機器</b>			
<b>成績評価の方法</b>	試験成績		
<b>備 考</b>			

教科名	区分	実施時期	時間数
生産工学概論	基礎学科	入校後 4～7か月	10
<b>《ねらい・到達目標》</b> 受注から出荷に至るまでの生産の流れを理解し、品質管理についての基礎知識を習得する。			
<b>《概要》</b> 生産組織、品質管理、IoTについて学ぶ。			
<b>授業内容</b>			
1 生産組織 2 品質管理 3 IoTについて			
<b>教科書・参考書</b>	機械・仕上の総合研究（下）（技術評論社）、自作テキスト		
<b>使用機器</b>			
<b>成績評価の方法</b>	試験成績		
<b>備考</b>			

教科名	区分	実施時期	時間数
材料力学	基礎学科	入校後 1～4か月	16
<b>《ねらい・到達目標》</b> 機械部品を構成する金属材料・非鉄金属材料等の性質についての知識を習得する。			
<b>《概要》</b> 金属材料、非鉄金属材料の性質及び特性について学ぶ。			
<b>授業内容</b>			
1 金属材料 2 非鉄金属材料			
<b>教科書・参考書</b>	機械・仕上の総合研究（上）（技術評論社）		
<b>使用機器</b>			
<b>成績評価の方法</b>	試験成績		
<b>備考</b>			

教科名	区分	実施時期	時間数
製図	基礎学科	入校後 1～6か月	40
<b>《ねらい・到達目標》</b> 機械製図に関する規格を理解し、機械部品の製図、組立図等に必要な知識を習得する。			
<b>《概要》</b> 製図規格、製図一般、図面管理等について学ぶ。			
<b>授業内容</b>			
1 製図規格概要 2 機械製図			
<b>教科書・参考書</b>	機械・仕上の総合研究（上）（技術評論社） 機械設計製図便覧（理工学社）		
<b>使用機器</b>			
<b>成績評価の方法</b>	試験成績		
<b>備考</b>			

教科名	区分	実施時期	時間数
機械工作法	基礎学科	入校後 1～6か月	40
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>各種工作機械と工具等について理解し、機械部品の最適な工作法の知識を習得する。 また、安全衛生特別教育の「アーク溶接等」、「自由研削用といしの取替え等」を行う。</p> <p>《概要》</p> <p>各種工作機械の種類と加工法、溶接法、手仕上げ等について学ぶ。</p>			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 工作機械概要</li> <li>2 手仕上げ作業</li> <li>3 安全衛生特別教育「アーク溶接等」</li> <li>4 安全衛生特別教育「自由研削用といしの取替え等」</li> </ol>			
教科書・参考書	機械・仕上の総合研究（下）（技術評論社） アーク溶接技能者教本（産報出版） グラインダ安全必携（中央労働災害防止協会）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
測定法	基礎学科	入校後 1～3か月	10
<b>《ねらい・到達目標》</b> 測定機器の種類と各種測定に関する知識を習得する。			
<b>《概要》</b> 測定器の使い方、長さ・角度の測定等について学ぶ。			
授業内容			
1 測定法概説 2 測定機器取り扱い			
教科書・参考書	機械・仕上の総合研究（下）（技術評論社）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績		
備考			



教科名	区分	実施時期	時間数
安全衛生	基礎学科	入校後 1～4か月	20
<b>《ねらい・到達目標》</b> 産業安全・労働衛生について理解し、安全作業ができる知識を習得する。			
<b>《概要》</b> 安全衛生の意義、安全作業のあり方について学ぶ。			
<b>授業内容</b>			
1 安全の意義 2 機械作業の安全			
<b>教科書・参考書</b>	機械・仕上の総合研究（下）（技術評論社）		
<b>使用機器</b>			
<b>成績評価の方法</b>	試験成績		
<b>備考</b>			

教科名	区分	実施時期	時間数
製図基本実習	基礎実技	入校後 1～7か月	60
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>製図規格に基づく機械図面の描き方を理解し、機械製図に必要な知識・技術を習得する。</p> <p>《概要》</p> <p>CADシステムを操作し、機械製図に必要な基本技術を学ぶ。</p>			
授業内容			
1 機械要素製図 2 加工図 3 組立図			
教科書・参考書	機械・仕上の総合研究（上）（技術評論社）、自作テキスト CADソフト		
使用機器	パーソナルコンピュータ		
成績評価の方法	試験成績		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
安全衛生作業法	基礎実技	通年	20
<b>《ねらい・到達目標》</b> 災害や事故防止の意識を高め、安全作業を習得する。			
<b>《概要》</b> 安全意識を高め、作業環境整備を行う。			
授業内容			
1 防災訓練 2 ゴミゼロ運動 3 作業環境整備 4 避難訓練 5 5S運動と安全作業 6 社会人コミュニケーション実習			
教科書・参考書			
使用機器			
成績評価の方法	受講認定		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
機械加工法	専攻学科	入校後 3～7か月	32
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>機械加工に必要な切削・研削加工理論を理解して、最適な加工ができる知識を習得する。</p> <p>《概要》</p> <p>最適な各種切削条件と使用工具の適正な取り扱いについて学ぶ。</p>			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"><li>1 切削理論</li><li>2 切削工具</li><li>3 レーザー加工について</li></ol>			
教科書・参考書	機械・仕上の総合研究（下）（技術評論社）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
測定実習	専攻実技	入校後 1～8か月	60
<p>《ねらい・到達目標》 各種測定機器の使用方法及びけがき作業を習得する。</p> <p>《概要》 各種測定機器を使用して寸法測定、形状測定及びけがき作業を行う。</p>			
授業内容			
1 寸法測定 2 形状測定 3 けがき作業			
教科書・参考書	機械・仕上の総合研究（下）（技術評論社）		
使用機器	各種測定機器		
成績評価の方法	試験成績		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
NC加工実習	専攻実技	入校後 1～8か月	150
<p>《ねらい・到達目標》 数値制御工作機械の操作方法と加工のためのプログラミング作成を習得する。</p> <p>《概要》 NC旋盤、マシニングセンタ、ワイヤー放電加工機のプログラミング作成と加工を行う。</p>			
授業内容			
1 NCプログラミング 2 NC工作機械操作			
教科書・参考書	NC工作機械（雇用問題研究会）		
使用機器	NC旋盤、マシニングセンタ、ワイヤー放電加工機、パーソナルコンピュータ		
成績評価の方法	試験成績		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
機械工作実習	専攻実技	入校後 9～12か月	432
<p>《ねらい・到達目標》 施設内基本実習を基に、企業において実務を体験し、企業人としての資質を養う。</p> <p>《概要》 機械加工の基礎技能を活かし、実際に企業において有給で実務を体験する。</p>			
<b>授業内容</b>			
1 就労型実習 2 総合実習 3 施設・工場見学 4 アーク溶接			
教科書・参考書	アーク溶接技能者教本(産報出版)		
使用機器	各種工作機械		
成績評価の方法	受講認定（企業における評価による）		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
切削加工及び研削加工実習	専攻実技	入校後 1～8か月	392
<p>《ねらい・到達目標》 各種汎用工作機械を操作し、基本加工及び応用加工技術を習得する。</p> <p>《概要》 普通旋盤、フライス盤、ボール盤、研削盤等を操作して機械加工及びといし作業を行う。</p>			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 旋盤・フライス盤作業</li> <li>2 ボール盤・研削盤作業</li> <li>3 自由研削といし作業</li> </ol>			
教科書・参考書	自作テキスト、グラインダ安全必携（中央労働災害防止協会）		
使用機器	各種工作機械		
成績評価の方法	試験成績		
備考			



教科名	区分	実施時期	時間数
機械保全実習	専攻実技	入校後 6～8か月	30
<b>《ねらい・到達目標》</b> 機械の簡単な故障診断をするための保全技術を習得する。			
<b>《概要》</b> 機械・設備の診断技術について学ぶ。			
<b>授業内容</b>			
1 機械の状態診断作業 2 対処作業			
<b>教科書・参考書</b>	自作テキスト、機械・仕上の総合研究（上）（技術評論社）		
<b>使用機器</b>	自作教材		
<b>成績評価の方法</b>	試験成績		
<b>備考</b>			

教科名	区分	実施時期	時間数
CAD実習	専攻実技	入校後 1～8か月	130
<b>《ねらい・到達目標》</b> CADシステムの操作法を理解し、機械製図に必要な知識・技術を習得する。			
<b>《概要》</b> 2次元CADシステムを操作し、機械部品の図面作成及びビジネスソフトの操作を行う。			
<b>授業内容</b>			
1 2次元CAD操作 2 部品図、組立図の製図 3 ビジネスソフトの基本操作 4 3Dプリンター基本作業 5 3Dプリンター応用作業			
<b>教科書・参考書</b>	自作テキスト		
<b>使用機器</b>	パーソナルコンピュータ		
<b>成績評価の方法</b>	試験成績		
<b>備考</b>			

教科名	区分	実施時期	時間数
社会	その他学科	通期	20
<p>《 ねらい・到達目標 》</p> <p>専門校生活に必要な心構えや登下校時及び校内における災害発生時などの初動対応について習得する。</p> <p>また、就職活動に向けたセミナーやガイダンスの参加、さらに社会人として持つべき意識や行動のあり方を習得する。</p> <p>《 概 要 》</p> <p>各種行事へ参加し、就職活動に必要な知識や社会人としての規律及び常識を学ぶ。</p>			
授 業 内 容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 交通安全講話</li> <li>2 人権問題研修</li> <li>3 技能展見学</li> <li>4 オリエンテーション等</li> <li>5 社会人コミュニケーション</li> </ol>			
教科書・参考書	配布資料		
使用機器			
成績評価の方法	受講認定		
備 考			

教科名	区分	実施時期	時間数
体育	その他学科	入校後 4～6か月	8
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>クラス内の親睦や専門校生活を有意義に過ごすためにレクリエーション等を通して、クラス内の親睦とコミュニケーションを図る。</p> <p>《概要》</p> <p>レクリエーションを実施し、クラス内の親睦と専門校生活の充実を図る。</p>			
授業内容			
1 レクリエーション			
教科書・参考書	レクリエーションに関する資料		
使用機器			
成績評価の方法	受講認定		
備考			